

事業番号 2021 - 総務 - 20 - 0129

令和3年度行政事業レビューシート (総務省)

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------------|---------|---|---|-------|-------------|--------------|--------------|
| 事業名 | 周波数逼迫対策技術試験事務 | | | 担当部局庁 | 総合通信基盤局 | | 作成責任者 | | |
| 事業開始年度 | 平成8年度 | 事業終了 (予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 電波政策課 | | 課長 荻原 直彦 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 電波法第103条の2第4項第3号 | | | 関係する 計画、通知等 | 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定) 周波数再編アクションプラン(令和2年11月13日公表) | | | | |
| 主要政策・施策 | IT戦略 | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 通信量増大に伴う周波数需要の拡大に対応するため、電波を有効に利用する実現性の高い技術について技術的検証を行うとともに、その技術の早期導入を図ることにより、周波数のひっ迫状況を解消又は軽減する。 | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 周波数のひっ迫による混信・輻輳を解消・軽減するため、既に開発されている周波数を効率的に利用する技術、周波数の共同利用を促進する技術又は高い周波数への移行を促進する技術を利用可能とするための無線設備の技術基準(電波の質、通信品質、制御方式等)を策定するために、民間企業等に対して、試験やその結果の分析等を請負わせる。 | | | | | | | | |
| 実施方法 | 委託・請負 | | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度要求 | | |
| | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 5,605 | 7,715 | 7,122 | 8,801 | 7,618 | | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | | | |
| | | 前年度から繰越し | 600 | - | 117 | 335 | | | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | ▲ 117 | ▲ 335 | - | | | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | | | |
| | 計 | | 6,205 | 7,598 | 6,904 | 9,136 | 7,618 | | |
| | 執行額 | | 5,777 | 7,125 | 6,343 | | | | |
| | 執行率 (%) | | 93% | 94% | 92% | | | | |
| 当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%) | | 103% | 92% | 89% | | | | | |
| 令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算目 | 令和3年度当初予算 | 令和4年度要求 | 主な増減理由 | | | | | |
| | 電波監視等業務庁費 | 6,585 | 7,580 | 主に5.9GHz帯V2X用通信システムに関する技術的検討等が終了することに加えて、外部有識者による評価結果を踏まえた新規要求案件の精査結果による。 | | | | | |
| | 電波利用技術研究開発等業務庁費 | 2,178 | 0 | | | | | | |
| | 諸謝金 | 31 | 31 | | | | | | |
| | 電波監視等業務旅費 | 5 | 5 | | | | | | |
| | 委員等旅費 | 2 | 2 | | | | | | |
| | 計 | 8,801 | 7,618 | | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 中間目標 - 年度 | 目標最終年度 年度 |
| | 課題設定型の技術試験事務において、外部専門家による終了評価の平均点が5点満点中3.5点以上 | 外部専門家による終了評価の平均点 | 成果実績 | 点 | 3.6 | 3.7 | 4 | - | - |
| | | 上記指標を使用するため、中間目標はなし | 目標値 | 点 | 3.5 | 3.5 | 3.5 | - | 3.5 |
| | | | 達成度 | % | 103 | 106 | 114 | - | - |
| 根拠として用いた 統計・データ名 (出典) | 総務省の「電波利用ホームページ」で公表している電波利用料による研究開発等の評価に関する会合終了評価結果 https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/fees/purpose/tectest/index.htm | | | | | | | | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 3年度 活動見込 | 4年度 活動見込 | |
| | 技術試験事務の実施件数 | 活動実績 | 件 | 31 | 32 | 24 | 25 | - | |
| 当初見込み | | 件 | 25 | 21 | 19 | 16 | | | |

| 単位当たりコスト | | 算出根拠 | | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 3年度活動見込 | |
|--|--|--|---|-------|----------|----------|----------|--------------|--------------|
| | | 執行額 / 技術試験事務の実施件数 | 単位当たりコスト | | | | | 百万円 | 186 |
| | | | 計算式 | 百万円/件 | 5,777/31 | 7,120/32 | 6,332/24 | 9,136/25 | |
| 政策評価、新経済・財政再生計画との関係 | 政策 | V. 情報通信(ICT政策) | | | | | | | |
| | 施策 | 5. 電波利用料財源による電波監視等の実施 | | | | | | | |
| | 測定指標 | 定量的指標 | | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 中間目標 - 年度 | 目標年度 - 年度 |
| | | 実績値 | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 目標値 | - | - | - | - | - | - | - |
| 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 | | | | | | | | | |
| 周波数のひっ迫による混信・輻輳を解消・軽減するため、既に開発されている周波数を効率的に利用する技術、周波数の共同利用を促進する技術又は高い周波数への移行を促進する技術を利用可能とするための無線設備の技術基準(電波の質、通信品質、制御方式等)を策定するための技術試験事務を実施することにより、電波の有効利用を促進し、電波の適正かつ能率的な利用に寄与する。 | | | | | | | | | |
| 事業所管部局による点検・改善 | | | | | | | | | |
| 国費投入の必要性 | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 | | | | | | |
| | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 携帯電話の通信トラフィックの増大に見られるように、無線通信需要の増大への対応が求められている。 | | | | | | |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 無線設備の技術基準策定に向けた事業であり、国が実施する必要がある。 | | | | | | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 電波法第103条の2第4項第3号の規定に基づき実施するもの | | | | | | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 原則として、一般競争入札を利用するなど、競争性を確保しながら支出先を選定しているが、一部の案件につき一者応札であったため、次回以降の調達に当たっては、見積書取得事業者の入札への参加を促すとともに、対応が可能と思われる事業者へ広く情報提供を行い、競争参加者の掘り起こしを図る。 | | | | | | |
| | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有 | | | | | | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 有 | | | | | | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 周波数のひっ迫が解消されることにより、電波利用料を負担している無線局免許人の受益となる。 | | | | | | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 個別案件の実施等に当たって、外部有識者による評価会合において予算の妥当性を含めて評価を実施している。 | | | | | | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | | | | | | | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 個別案件の実施等に当たって、外部有識者による評価会合において予算の妥当性を含めて評価を実施している。 | | | | | | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | | | | | | | |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | | | | | | | | |
| 事業の有効性 | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ | 個別案件の実施等に当たって、外部有識者による評価会合において予算の妥当性を含めて評価を実施している。 | | | | | | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | 成果目標に見合った成果実績をあげた。 | | | | | | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 個別案件の実施等に当たって、外部有識者による評価会合において予算の妥当性を含めて評価を実施している。 | | | | | | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 当初見込みどおりの実績をあげている。 | | | | | | |
| 関連事業 | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 外部有識者による評価会合において、技術基準等の策定に向けた確認を実施している。 | | | | | | |
| | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | - | | | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 今後の無線通信需要の増大に対応するため、電波資源を拡大することは重要な課題であり、必要性が認められる。本事業では、予算要求時、計画時、採択時、継続時及び終了時の各段階において、案件ごとの効率性や体制の妥当性等について、外部有識者による評価会合において評価を実施し、効率的な事業の実施に努めている。 | | | | | | | |
| | 改善の方向性 | 各案件の効率性等を客観的に判断するため、引き続き外部有識者による評価会合における評価結果を踏まえて各案件を実施する。 | | | | | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | | | | | |
| 外部有識者による点検の対象外 | | | | | | | | | |

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善

更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

当該事務の実施に際しては、引き続き、有識者による外部評価を踏まえ実施内容や予算額の精査を行い、更なる効率化を図る。

備考

平成29年度秋の年次公開検証(秋のレビュー)における本事業に対する指摘及び対応状況の概要

○レビューシート番号:0122、事業名「電波資源拡大のための研究開発等」

○評価結果:事業内容の一部改善

○主な指摘事項

真に必要な事業のみに絞り込む必要がある、例えば、5Gの研究開発から直接利益を得るのは民間企業であることを勘案すれば、政府と民間の役割・費用分担の在り方についても再検討する必要がある。

○対応状況の概要

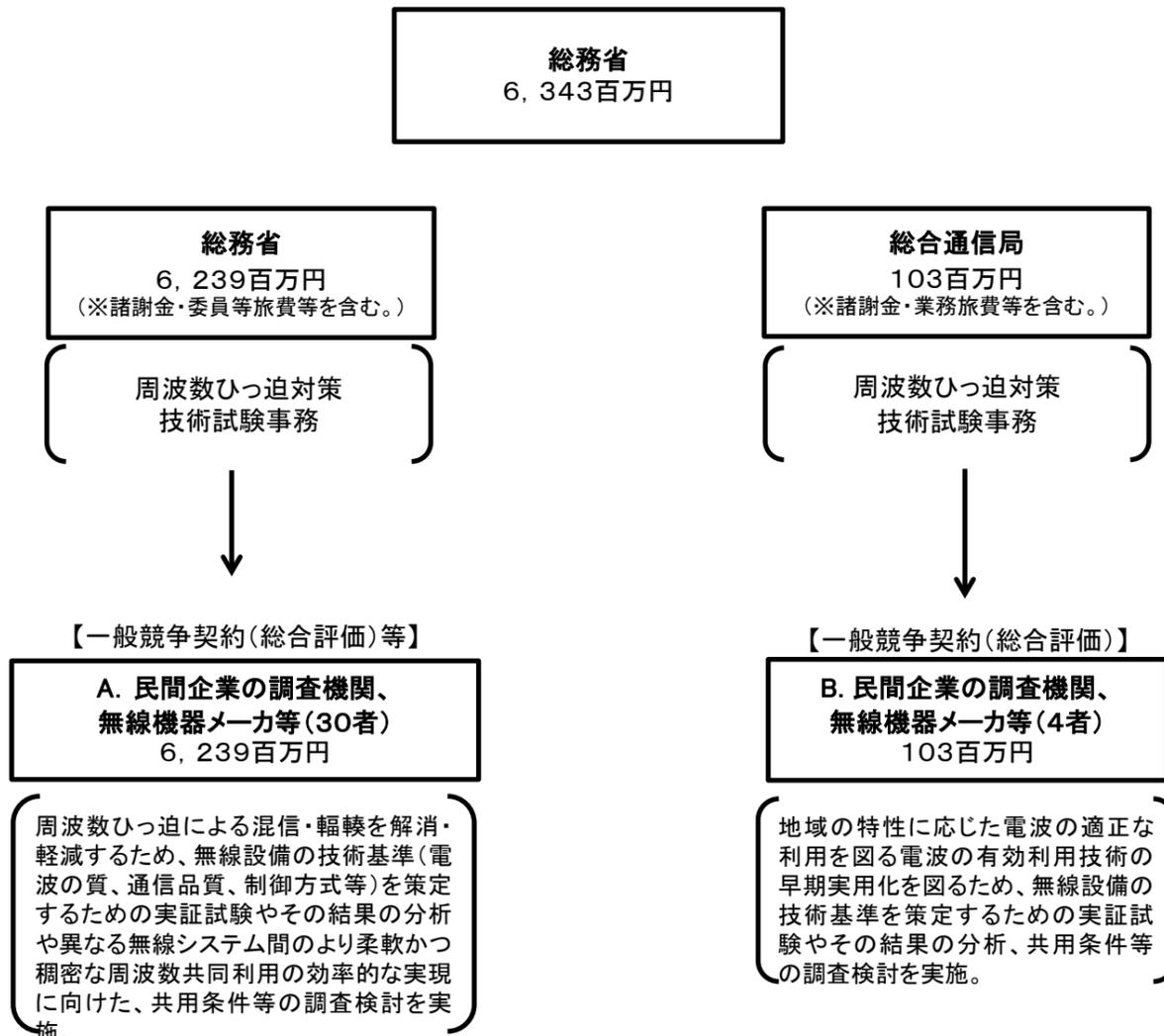
民間企業の自己負担については、提案書に官民費用負担にかかる申告書の提出を求め、民間企業からの自己負担を明確化させたうえで実施者の選定・契約を行う。また、研究開発課題の提案募集期間を2ヶ月に拡大し、研究機関や民間企業等のヒアリングを従前より前倒し、外部有識者による評価も踏まえつつ、真に必要な事業の絞り込みを行った。

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | | | | |
|--------|------------|--|--|--|
| 平成22年度 | 0117 | | | |
| 平成23年度 | 0118 | | | |
| 平成24年度 | 0120 | | | |
| 平成25年度 | 0125 | | | |
| 平成26年度 | 0125 | | | |
| 平成27年度 | 0123 | | | |
| 平成28年度 | 0120 | | | |
| 平成29年度 | 0122 | | | |
| 平成30年度 | 0111 | | | |
| 令和元年度 | 総務省 - 0125 | | | |
| 令和2年度 | 総務省 - 0130 | | | |

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



| 費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載） | A.(一社)放送サービス高度化推進協会 | | | B.NTTアドバンステクノロジー株式会社 | | |
|--|---------------------|------------------------------|-------------|----------------------|------------------------------|-------------|
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 直接経費 | 人件費、機材借料、施設利用費、調査検討 会運営費等 | 2,045 | 直接経費 | 人件費、機材借料、施設利用費、調査検討 会運営費等 | 35 |
| 計 | | 2,045 | 計 | | 35 | |
| 費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 | | | | | | チェック |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|----|-----------------------|---------------|--|--------------|------------------|----------------|-------|---|
| 1 | (一社)放送サービス 高度化推進協会 | 4010405006348 | 放送用周波数を有効活用 する技術方策に関する調 査検討(新たな放送サー ビスの実現に向けた調査検 討) | 1,372 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 97.8% | - |
| 2 | (一社)放送サービス 高度化推進協会 | 4010405006348 | 放送用周波数を有効活用 する技術方策に関する調 査検討(効率的な周波数利 用の実現に向けた調査検 討) | 672 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 97.7% | - |
| 3 | 東芝インフラシステ ムズ(株) | 2011101014084 | 技術試験事務「次世代高機 能レーダー等の導入による 周波数の有効利用のため の技術的条件に関する調 査検討(令和2年度)」の請 負 | 659 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 97.7% | - |
| 4 | 東芝インフラシステ ムズ(株) | 2011101014084 | 二重偏波気象レーダー装 置製作及び取付調整(名古 屋ほか)(技術試験事務関 連)の調達 | 660 | 随意契約 (その他) | 1 | 100% | - |
| 5 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | BS放送用周波数の効率的 な利用に関する調査検討 の請負 | 517 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 97% | - |
| 6 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | 動的な周波数割当に向け た無線局間の共用に関す る調査検討の請負 | 247 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 97.8% | - |
| 7 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | 令和2年度非静止衛星シス テムの高度化に係る周波 数共用技術に関する調査 検討の請負 | 179 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 97.7% | - |
| 8 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | 令和2年度「X帯沿岸監視 用レーダー等の高度化の ための技術的条件に関す る調査検討の請負」 | 90 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 99.4% | - |
| 9 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | 令和2年度『災害時通信安 定化のための衛星システ ムの高度化に関する調査 検討』の請負 | 60 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 82.4% | - |
| 10 | (株)三菱総合研究 所 | 6010001030403 | VHF帯航空無線電話のナ ロー化に関する調査検討 の請負 | 15 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 94.5% | - |
| 11 | (株)NTTドコモ | 1010001067912 | 「5.9GHz 帯V2X 用通信シ ステムに関する技術的検 討」のうち「セルラーV2X シ ステムの導入に係る技術 的検討」の請負 | 453 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 96.5% | - |

| | | | | | | | | |
|----|-------------------------|---------------|---|-----|------------------|---|-------|---|
| 12 | 沖電気工業(株) | 7010401006126 | 「5.9GHz帯V2X用通信システムに関する技術的検討」のうち「狭域通信システム(DSRC)の導入に係る技術的検討」の請負 | 213 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 95.7% | - |
| 13 | (一社)電波産業会 | 7010005016769 | 令和2年度「900MHz帯における新たな無線利用に関する調査検討」の請負 | 197 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 94.4% | - |
| 14 | (一財)テレコムエンジニアリングセンター | 5010705001857 | 令和2年度「特定無線設備の放射測定における試験方法等に関する調査検討」 | 137 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 89.1% | - |
| 15 | 三菱スペースソフトウェア(株) | 9010401028746 | 令和2年度二重偏波気象レーダーデータ処理解析部製作及び取付調整(名古屋ほか)(技術試験事務関連)の調達 | 125 | 随意契約 (その他) | 1 | 100% | - |
| 16 | エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株) | 9011101028202 | 令和2年度「良好な電波環境の維持のための設置場所測定方法の調査検討」の請負 | 110 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 95.3% | - |
| 17 | (株)野村総合研究所 | 4010001054032 | 5Gの高度化に関する周辺動向についての調査及び技術的検討 | 86 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 99.2% | - |

B

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------------|---------------|---|--------------|------------------|----------------|-------|---|
| 1 | NTTアドバンステクノロジー(株) | 9011101028202 | 5.6GHz帯無線LANの上空利用開放に向けた調査検討 | 35 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | 98.8% | - |
| 2 | (一社)全国自動車無線連合会 | 4010005019080 | 一般業務用IoT無線の周波数有効利用に関する技術試験検証 | 31 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 99% | - |
| 3 | (株)NHKテクノロジー | 9011001003973 | 臨時災害放送局の高度利用技術に関する調査検討 | 22 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | 99.8% | - |
| 4 | (株)リベルタス・コンサルティング | 4010401058533 | 衛星を活用したVHFデータ交換システム(VDES)の導入による海上無線通信の高度化に向けた調査検討 | 12 | 一般競争契約 (総合評価) | 3 | 92.9% | - |

| | | |
|--|------|--|
| 支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 | チェック | |
|--|------|--|